



# 清風

南砺市立上平小学校  
学校だより  
令和7年1月  
上平小学校ホームページ  
<https://kamitaira-e.nanto.ed.jp/>

## 三つの㊦がパワーアップする3学期に！！

校長

1月8日の始業式の日、朝からとても嬉しい出来事がありました。スクールバスで到着した高学年の子供たちが、誰にも指示をされないのに、互いに声をかけ合って玄関前を除雪し始めたのです。あっという間に玄関前はすっきり。3学期も高学年として頑張るぞという意欲が感じられ、とても頼もしく思いました。

3学期は、1年間のまとめの学期であり、次の学年への準備をする大切な学期です。始業式では、全校の子供たちに「三つの㊦をパワーアップ！！」と題して、以下のことを伝えました。

「㊦っぱい話す・書く」では、学年毎に目当ての文の数を示しました。1、2年生は2文で、3年生以上は学年の数字の数なので、6年生になると6文です。自分の考えを目当ての文の数以上で詳しく話したり書いたりできるようにしてほしいと話しました。

「㊦いこと続ける」では、続けるとよい目当てを一人一人が立てて、「継続することで力を付けよう」と話しました。例えば、一つ上の学年の人の頑張りやよいところを目当てにすることで、次の学年に向かう力になることが期待できるでしょう。

「㊦わない悪口」では、「特に相手の名前呼び方に気を付けよう」と投げかけました。相手が嫌がる名前呼び方をすることは、悪口と一緒に、相手の心を傷つけたり、けんかの原因になったりします。名前呼び方に気を付けて、さらに仲よく元気な上平小学校をつくろうと話しました。

今年度、全校の目当てとして取り組んできた「三つの㊦」。最終段階も全校で取り組むことで、子供たち同士が認め合ったり励まし合ったりしながら、確実に意識していくことでしょう。そして、「〇文も書けたね。詳しくできたね」「名前呼び方に気を付けたね。うれしい呼び方だね」と、学校と家庭の両方でできたことを認める声かけをしていくことが大きな満足感や成就感につながり、次の学年への大きなステップになることでしょう。

3学期もご支援やご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



<手作りのお飾りで新しい年を迎えました>



### 2月行事予定

1日(土) 5限学習参観	12日(水) 委員会
6限スポーツ少年団体験会	13日(木) 3年校外学習(砺波市・散居村ミュージアム)
親子下校(下校バスなし)	
3日(月) 振替休業日	19日(水) クラブ
5日(水) クラブ	23日(日) 天皇誕生日
6日(木) 書損じハガキ贈呈式 13:00	24日(月) 振替休日
7日(金) 半日入学	26日(水) 委員会
6年生平中学校入学説明会	

## 自分の身体を守ることができる子供に

保健主事

保健・安全面から見た本校の子供たちの気になる傾向として、①むし歯のない子供が少なく、むし歯を治療していない子供が多いこと、②寝る時刻が遅い子供が多いことがあげられます。どちらも、生活の中で気を付けることで少しでも防ぐことができるのではないかと考え、PTA 家庭教育委員会のご協力をいただきながら以下の取組を行いました。

①委員会の子供たちと一緒に正しい歯みがきの仕方や大切さを伝える動画を作成したり、「歯みがきチェックカード」を作成したりしました。そして、5日間をかけて5つの正しい歯みがきのポイントを意識してみがく週間を設定しました。

②PTA 教育講演会で「睡眠」の大切さをテーマとして取り上げました。子供と保護者が同じ話を聞くことで、家庭でのルール作りやルールを守った生活につなげ、規則正しい生活を身に付けてほしいと考えました。

二つの活動のどちらも、自分で自分の健康を維持するために日常で意識できる内容です。自分の身体を自分で守ることができる子供になってほしいと願っています。



## 3 学期始業式

学校行事担当

本校では、「聴き合い」を大切にしており、学期の始めと終わりには、学年代表の子供が話す振り返りや抱負を聴いて、他の子供が感想や自分の考えを自主的に発表する場を設けています。

1月8日(水)に行われた3学期の始業式でも、各学年の代表が、冬休みに頑張ったことや、3学期に頑張りたいことを発表しました。その後、発表を聴いていた子供たちは、「私もスキーが上達するように練習したい」、「ぼくも外国語の文法を身に付けたい」等、自分も頑張りたいことを発表しました。これからも話を聴き、自分の考えを発表できる力を身に付けられるように支援していきたいと思います。



## 思いをしたためて

教務主任

1月8日(水)、始業式に続いて書初大会を行いました。12月から冬休みにかけ、子供たちは学校や家庭で書初練習を続けてきました。繰り返し練習するうち、とめ・はね・はらいの技術や書き方のコツだけでなく、集中力や落ち着いて物事に取り組む姿勢も身に付いたようです。

低学年は硬筆で「えがお」「あさひ」、中高学年は毛筆で「つよい心」「雪の立山」「水清き里」「夢の実現」を揮毫しました。思いをしたためた書初のように、子供たちにとって充実した年間となるよう見守っていきたいと思います。

